

イタリア語

イタリアへ飛び立つための *passaporto* (パスポート)

1. 担当教員の紹介

エマヌエレ・コンティ (専門：イタリア・スペイン語教育)

語学教育のほか、さまざまな場で通訳・翻訳をしています。

趣味はパソコン、大工仕事や工作、それにもちろんサッカー。



写真：Stefan Bauer, <http://www.ferras.at>

佐藤りえこ (専門：ラテン・ギリシア文学)

オペラの台本を朗読すること、イタリアのポップスの歌詞を日本語に訳すことが趣味。

2. まず目的地を決めましょう *イタリアにはいろいろな顔があります。

「これっていいかも!」「おもしろそう!」と感じる「^お推したくなるイタリア」がきっとあるはず。

ファッション：イタリアの Gucci や Armani、Dolce&Gabbana など世界的に有名なファッションメーカーは日本でも人気を博しています。イタリア人は友人宅に招待されると、いったん帰宅し着替え、おしゃれをしてから出かけます。日常的な習慣からもファッションへの意識の高さがうかがえます。

美術：博物館や美術館だけでなく、町の中には歴史的なモニュメントが数多くあります。ミケランジェロ、ボッティチェリなど、ルネサンス期の有名な画家はもちろん、路上で、あるいはオンラインで作品を配信している現役のアーティストだって負けてはいません。

音楽：オペラやカンツォーネ、クラシックそれに映画音楽の分野でイタリアは多数の作曲家や演奏家を輩出しています。楽器の制作で有名な街もあります。それに恋に情熱的だと言われるこの国では好きな女性のために男性がセレナータ（恋の歌）を歌う伝統があり、結婚式の前夜、婚約者の家のベランダの下で歌う習慣が残っている地域があります。

食文化：イタリア料理はパスタ、ピザ、ジェラートだけだとは思っていませんか？レストランでのフルコースのほかに、その土地でしか味わえない郷土料理や行事に欠かせないお菓子も健在です。まだ日本には知られていない本場の味を現地で賞味したいものです。

歴史的遺産：古代ローマ帝国の中心地であった歴史を持つローマは、街全体が文化遺跡として保存されています。ユネスコの世界遺産の登録数はイタリアが中国を抜き世界第一位です。実際に訪れることで教科書からは学べない歴史的な感動を得ることができます。

歴史における貢献：航海時代、それは多くのイタリア人航海士が活躍した時代です。アメリカ大陸を発見したコロンブス（ジェノヴァ出身）は教科書にスペイン人だと記載されたことがあります。スペインの経済的支援を受けていたゆえの誤解です。ちなみに大陸名の「アメリカ」はイタリア人アメリゴ・ベスプッチに由来しています。

科学：イタリア人科学者と言えばガリレオ・ガリレイの名前が挙げられますが、一方で「モナリザ」を描いたダ・ヴィンチが工学・医学（解剖学）の分野でも活躍したこと、またアラビア数字の優位性を説いたフィボナッチ、近代会計学の父パチョーリなどの数学者たちの偉業を知っている人は少ないのではないのでしょうか。

最古の総合大学：ヨーロッパで最初に総合大学としての教育を開始したのがボローニャ大学です。現在、国内第二位の規模をもつこの大学は、外国人へのイタリア語教育でも高い実績を誇っており、世界中から集まった多くの留学生がここで学んでいます。

スポーツ：国民的スポーツといえばサッカー。セリエ^アA（イタリアリーグ）は日本人選手も憧れる登竜門的存在です。近年、徐々に知名度が高まってきたスポーツとして、バレーボールや「ジロ」の愛称をもつロードレースがある自転車競技などが挙げられます。

3. 行き先の次はパスポート。^{パスサポルト} *passaporto*（パスポート＝イタリア語）を準備しましょう

イタリア語を母語とする話者は 6, 100 万人で（日本の人口の約半分）、イタリアとバチカン市国、サンマリノ共和国、スイスの一部の州の公用語です。イタリア人は移民として世界各国に散らばっているためイタリア語が話されている地域はけっこう広範囲にわたっています。また歴史的にはローマ帝国の共通語であったラテン語から派生した言語で、同じようにラテン語から派生したフランス語やスペイン語、ポルトガル語などとイタリア語は「兄弟関係」にあるため「イタリア語の次はスペイン語！」と気軽に「兄弟言語」にチャレンジすることも可能です。

イタリア語の文字は英語のアルファベットと同じで、発音は基本的にローマ字読みなの学びやすい言語です。一方で文法は英語と異なるところがあるため、初学者は戸惑うこともしばしば。でもイタリア人の多くは相手が単語を数個しか知らなくてもあきらめたりしません。イタリア人は「両手を縛られると話せなくなる」とよく言われます。これは過剰なまでにジェスチャーを交えて会話するため、両手の自由が利かなくなると途端に話ができなくなってしまうイタリア人の会話の流儀を表しています。表情や動作などコミュニケーションには、ことば以外に大切な要素がたくさんあり、文法の基礎をしっかりと学ぶことと同じくらいに、恥ずかしがらないで学んだことをどんどん使ってみる心意気が大切です。使っているうちに知らず知らず理解できなかつた文法も習得できるはずです。

さあ、一緒にイタリア語をはじめましょう！ **Buono studio!**

▶中国地方の大学で第二外国語としてイタリア語が学べるのは、広島市立大学のほか岡山大学やエリザベト音楽大学があります。しかし週二回、二年間続けて学習できる環境が整っているのは広島市立大学だけです。ぜひ、このチャンスを逃さないでください。